

## 2009年度第3回理事会議事要約

日時 2009年9月3日(木)15:00～18:10

場所 森戸記念館 第三会議室

出席者 会長新井民夫ほか書面参加6名を含め計25名の理事

### 議事1 前回議事録確認の件

・6月26日開催の2009年度第2回理事会議事録を承認した。

### 議事2 前回総務財務委員会議事録確認の件

・8月4日開催の2009年度第2回総務財務委員会議事録を承認した。

### 議事3 各部会委員会報告の件

#### 1. 事業部会

##### 1) 以下の2件を承認した。

- ① 2009年度秋季大会(神戸大学)実行委員追加(3名)の件
- ② 日本工学会CPD協議会年会費支出の件

##### 2) 以下の報告があり了承した。

- ① 講習会開催(第338回)および準備(第339、340回)状況について
- ② 突発事故に対する大会実施判断および広報に関する取決め案について了承した。また、個々のインフルエンザ等による講演中止については特別な扱いはしないこととした。
- ③ 2009年度秋季大会(神戸大)の準備状況
  - ・講演会参加事前申し込み件数は206件、機器カタログ展示等参加数は27団体であった。
  - ・CD-ROMおよびシボジウム資料の事前送付完了。
- ④ 2010年度春季大会(埼玉大)の準備状況  
会誌11月号に募集会告を掲載(講演申込受付は11/10頃)
- ⑤ 2010年度秋季大会準備状況  
開催日:2010年9/27(月)～29日(水)名古屋大学東山キャンパス
- ⑥ ASPEN2009準備状況  
暫定プログラムを作成中。参加登録の期限は10/20を予定。
- ⑦ ICPE(2010.7.27-30、シンガポール)のCall for Paper(案)が配布された。  
内容チェックし修正を要請するよう指示があった。

#### 2. 出版部会

##### 1) 電子校閲の開始に向け、論文執筆要綱の一部修正が提案され承認した。URL情報の引用に関する規定の提案があったが、今回の改訂以後の検討事項とした。

##### 2) 以下の報告があり了承した。

- ① 電子校閲システムの実施は、予定通り10/1。
- ② 専門委員会等による会誌特集企画に関する内規(筆頭者の会員/非会員の制約に関するもの)の提案があり、了承した。
- ③ 各委員会の開催状況および開催予定。

#### 3. 広報・情報部会

以下の報告があり、了承した。

- ① 賛助Web級の新規加入の件
- ② PE誌1月号の広告原稿の件
- ③ 基礎講座「医療福祉工学」「精密測定の世界」の準備状況
- ④ メールマガジンの発行状況

#### 4. 周年事業関係

##### 75周年事業「生産知識の殿堂PJ」

- ・DVD発行貸出に伴う利用者への説明に不十分なところがあり追加フォローした。
- ・DVD化に伴う作成作業費が算定から抜けていたため、追加の予算(～17万円)の要求があり、承認した。

#### 5. 財務委員会

- ・財務委員会より本年度第二4半期の一般会計の決算報告があった。支出は抑制傾向にあるが、収入の進捗が悪く前年度比で約1000万円の収支差ダウンである。収入を増やす仕掛け、知恵が必要。
- ・次年度事業計画・予算および今年度事業報告・決算の日程が提案され、了承した。

#### 6. タスクフォース

公益法人認定対策TFより活動状況について報告があった。

第3者(専門家)による現状分析および検討課題の抽出、その課題に対するTFの検討結果が提

示され、下記の通り了承した。

- ① 事業区分については、特別会計がなくなる下で、“収支相償”や“公益事業比率”の要件を満たすよう現実対応をする。
- ② 支部、専門委員会、精密技術研究会などが、一元管理されるような構造にするため、標準規約を策定し、そのもとに統一的「規則」「会則」を設定するように改善する。専門委員会については、専門委員長の1、2人にTF検討会に参画を要請し、案を練ることとする。
- ③ 現在の特定引当資産では、新法で“遊休財産”から控除される「特定費用準備資金」に該当するものが限定されるため、全ての特定資産について再構築することとする。
- ④ 代表理事は会長のみとし、会長が欠けた場合の代表理事を第1回理事会において順位を決めておくことを定款に定めて対応する。
- ⑤ 役員、代議員が欠けた場合のための補欠は用意せず、それぞれ補充しなくてもよい定数範囲を定款に記載する。
- ⑥ 新法での社員となる代議員（現行の評議員に対応）の選挙は例えば年末までに実施し、年初に就任し、その新代議員が3月の社員総会で次期役員を選任することにする。従って、代議員は選挙から次の選挙までの約2年間を、また役員は社員総会から約2年後の社員総会までを任期とする。
- ⑦ 役員の評議員としての選任は、理事、監事の区分だけでよいことになっているが、提案する当期の理事会としては、代表理事、会長、副会長としてどの理事候補を予定しているかも表明するのがよいと考えている。
- ⑧ 税理士、会計士の関与について、もし監事にその経験者を加える場合は「定款変更案」の附則で対応する。

議 事 4 賞審査関連事項の件

1. 2009年度学会賞、技術賞、技術奨励賞の審査結果  
青山委員長および竹内委員長より審査結果が報告され、それぞれ承認した。
2. 2009年度論文賞、沼田記念論文賞、高城賞、研究奨励賞の審査委員会設置  
および審査スケジュールについて：第2回審査委員会の日程を1月30日（土）とすることで、委員会設置も含め承認した。

議 事 5 2009年度フェロー選考委員会設置と選考基本方針の件

- ・前年度のフェロー総数の規定の見直しについて確認し、委員会設置および基本方針を承認した。

議 事 6 2009年度アフィリエイト選考委員会設置と選考基本方針の件

- ・個人推薦規定の「異なる組織の正会員2名による推薦」を「正会員2名による推薦」と簡素化することとし、委員会設置および基本方針を承認した。

議 事 7 次期役員および評議員候補者推薦の件

候補者推薦委員会委員長より、候補選定の考え方および経緯が説明され、役員30名、評議員100名の候補者が提案された。全員を候補者とすることを承認し、選挙管理委員会に届けることとした。あわせて、選挙関連日程が紹介された。

議 事 8 2009年度秋季大会期間中の会議日程

役員に関係する会期中の会議の日程一覧が配布され、出席の要請があった。

議 事 9 その他

1. NPO-PENの活用について  
担当理事より、大会3日目に開催されるNPO-PENとの交流会についてその趣旨説明があった。
2. ICPEの位置付けについて  
新井会長より、ICPEに対するeuspenの考え方を再確認した旨の報告があり、今後、学術交流委員会が対応することとした。
3. 会員状況の件  
7月の入会：正会員；9名、学生会員；9名、及び賛助；1社を承認し、退会：正会員；1名、学生会員；7名を確認した。また8月の入会：正会員；13名、学生会員；10名、及び賛助；1社を承認し、退会：正会員；10名、学生会員；3名を確認した。